

ダイプラストウッド使用上の注意

このたびは、第一パイプ工業(株)製ダイプラストウッドをご購入いただきまして誠に有難うございます。
出荷時の状態を保ち、より安全にご使用いただくため、ご使用の際には以下の点にご留意ください。

<特性>

- 本製品は再生プラスチック(主にポリエチレン)製樹脂製品です。電線の被覆材(電線グレードという再生プラスチックでは高品質な材料です)を主な原料としており、製品には、一部、細かい銅線が含まれている場合がございます。
- 再生材料を使用しているため、その材質は必ずしも同一ではないことから、表面状態は製品により多少異なります。ひとつひとつ金型に注入して成型する工程上、特に注入口周辺には樹脂の流れが模様となっている場合がございます。
- 特性のひとつとして、気温変動等の影響で生じる製品温度の変化により、製品に伸縮、反り等が発生する事がございます。
- また、製品を切断する場合、その内部には大きさの異なるす(気泡)が不規則に入っている場合がございます。
- 商品内部のす(気泡)や表面状態の特性は交換の対象となりません。

<保管>

- 出来る限り直射日光を避け、常温での保管を推奨します。なお、出荷時の気温から±10℃の温度変化により、約0.5%の伸縮が発生する事がございます。(タテ方向)
- また、直射日光の照射等による製品内部の温度上昇は、反り発生の原因となり得ます。陽射しを避け、温度変化の影響を受けにくい状態で保管してください。
- 屋外での保管は、遮光シート等で覆うことにより、製品内の不均質な温度上昇を避け、反りや伸縮を防ぐ効果があります。
- 保管する場合は平坦な場所に置くようにしてください。2点間支持、また、立て掛けての保管は製品が曲がる原因となりますので、ご注意ください。
- 80℃前後で製品の軟化が始まります。保管場所の火気、気温上昇にはお気をつけください。

<切断・接合・塗装>

基本的に木材と同様の加工が可能ですが、摩擦熱により製品が軟化して刃に付着することがございます。
接合には、木材同様、釘、ボルト、ねじ等が使用できます。尚、接着剤の使用はお薦めしておりません。

<廃棄処理>

消防法指定可燃物に該当します。廃棄される場合は、お住いの地域の回収ルールに則って処分してください。